

基本的な考え方

- 社会全体のデジタル化によってSDGs達成に貢献するということをG20の共通目標として提示
- AIの積極的な利活用によって「デジタル化による生産性の向上」を達成し、その果実を社会全体に行き渡らせることで、経済・社会の包摂的かつ持続的な成長を実現するという我が国発のSociety 5.0の理念を世界に広めていくことが必要
- その上で、デジタル化が社会課題の解決に加え、産業構造・労働環境を効率化することで、人々のライフスタイルが豊かになり、新しい雇用や産業を創出することができるという考え方を世界に発信し、共通認識を醸成

I. デジタル化によるSDGs達成への貢献

- | | | |
|--|--|---|
| ① SDGsを達成し、社会・経済の包摂的かつ持続的な成長を実現するためには、 <u>デジタルテクノロジーの活用が不可欠</u> であることを確認 | ② SDGsを達成し、社会・経済の包摂的かつ持続的な成長を実現するためには、 <u>インフラ整備の促進、デジタル格差・ジェンダー格差の解消等が必要</u> であることを確認
特に2025年までに世界中の人をインターネットに接続するというG20の共通目標の推進を再確認 | ③ 地球上の誰一人として取り残さず (leave no one behind)、 <u>あらゆる人々がデジタル化の恩恵を共有</u> できるよう、G20 (有志国による) が国際機関と協力した行動を起こすことを提起 |
|--|--|---|

II. データの自由な流通と利活用の促進

- ① データの自由な流通を促進し、デジタル化による恩恵を最大化するため、データが広く利活用されるためのオープンな環境を整備する必要があることを発信し、共通認識を醸成
- ② データの自由な流通を一層促進するため、信頼性 (トラスト) の向上 (個人情報保護、サイバーセキュリティの強化、知的財産の保護等) が必要であることを確認
- ③ 個人によるデータのコントロールビリティの確保に向け、データの特性に応じた分類やそれを踏まえた適切な取扱い等の検討を行うことを提起

III. AI/IoTの利活用の促進と環境整備

- ① AIによって産業構造・労働環境を効率化することで、人々のライフスタイルが豊かになり、新しい雇用や産業を創出することができるという考え方を世界に発信し、共通認識を醸成
- ② AIの社会における受容性を向上させるため、AIの自由な活動を守りつつ、倫理面を含む安心・安全なAIの利用環境を提供する人間中心のAI原則を共有
- ③ インクルーシブなAI経済社会の実現に向けたデータの役割の検討を開始することを提起
- ④ G20各国のAI政策・戦略、取組事例等の共有を提起

IV. サイバーセキュリティの確保

- ① IoT機器・サービスの急速な普及等によるサイバーセキュリティのリスク環境が急激に変化しており、社会・経済の秩序や企業や消費者を含む全てのユーザの信頼を維持するためには、サイバーセキュリティの確保が重要であることを確認
- ② サイバーセキュリティの確保の在り方について、民間企業・団体、市民社会も含めた幅広い関係者による議論と共通理解が重要であることを確認
- ③ サイバーセキュリティに関する意識向上や人材の確保・育成が重要であることを確認

今後の我が国の戦略

- | | | | |
|--|--|---|--|
| i. SDGs達成に向けた取組を推進し、包摂的なデジタル経済の構築に貢献 <ol style="list-style-type: none"> a. G20有志国が産学官と一体となって、国際機関等とも連携した<u>マルチステークホルダーによる取組を推進し、デジタルテクノロジーを活用した途上国への開発支援</u>を促進 b. ビジネスチャンスの創出を促進するため、<u>KPIの活用やベストプラクティスの共有</u>を促進 c. SDGs達成に向け、<u>他国とオープンな姿勢で連携</u>を推進 | ii. データの取扱い等に関する議論を主導し、データの自由な流通を促進 <ol style="list-style-type: none"> a. OECD等の国際機関と連携し、<u>データの特性に応じた分類やそれらを踏まえた適切な取扱い等</u>を検討 b. 慎重な取扱いを要するデータについて、<u>政策的枠組みの相互運用性の向上</u>を推進 c. <u>信頼性に関する評価指標</u>作り等を検討 | iii. AIの倫理や利活用に関する議論を主導し、格差のないAI時代の社会の実現を推進 <ol style="list-style-type: none"> a. <u>AIによるライフスタイルの改善、雇用・新産業の創出</u>を主導 b. 格差のないAI時代の社会を実現するため、<u>人間中心のAI原則の普及</u>を推進 c. AIの社会での実用化・利活用を促進するため、<u>他国との政策連携</u>を推進 d. <u>インクルーシブなAI経済社会の実現に向けたデータの役割</u>を検討 | iv. サイバーセキュリティに関する議論を主導し、安心・安全なデジタル社会の構築を推進 <ol style="list-style-type: none"> a. サイバーセキュリティを向上させ、安心・安全なデジタル社会を構築するため、<u>産学官・市民社会との連携</u>を推進 b. サイバーセキュリティ人材の育成に関する国際協力を通じ、<u>仲間作りを推進</u>するとともに、<u>ビジネスチャンスの創出</u>を促進 |
|--|--|---|--|

国際的な合意形成を踏まえたSociety 5.0のグローバルな展開、AI時代に向けた未来像の検討や社会課題解決の方策の具体化等を通じて、「ICTグローバル戦略」を推進